

亀の川物語

亀の川は源を海南市黒沢牧場近くの長峰山中に発し、海南市の南野上谷より阪井、小野田と流れ、且来(あっそ)を経て和歌山市冬野、浜の宮を西に直進し、和歌浦湾に河口を開いています。流域面積は21.5平方キロメートル、河川の延長は約14キロメートルです。

写真1



写真2



写真3



写真1は長峰山中の源流部です。この山腹のどこから亀の川が流れ始めます。

写真2は別の源流部から少し下ったところの砂防ダムです。中央の穴からわずかに水が流れ出ています。

写真3は源流部から南野上谷を北に見たところです。標高は約250メートルです。一番上に見える山並みは和泉山脈です。(海南市赤沼付近)

写真4



写真5



写真6



写真4・5は海南市上谷の極楽寺の下です。少しずつ流れが集まって水量が増えてきます。

写真6は海南市土谷付近の標高約120メートルのところ。少し谷が広がって田がみられるようになりました。

写真7



写真8



写真9



写真7は海南市ひや水付近です。川のそばに人家が見られるようになりました。

写真8・9は海南市ひや水と次ヶ谷の中間付近です。標高約100メートルのところ。谷がやや深くなって道路のかなり下に流れがみられます。

写真10・11は海南市次ヶ谷の南野上小学校の北付近です。傾斜もゆるやかになり、川らしくなりました。標高は約50メートルです。

写真10



写真11



写真12



写真13



写真14



写真12・13は海南市木津付近です。だいぶん川幅も広くなり水量も増えてきました。

写真14は海南市阪井と沖野々の中間付近、紀陽銀行のある交差点よりやや南のところ。です。



写真15



写真16



写真17



写真15・16は海南市阪井と小野田の中間付近です。標高は約30メートルです。

写真17は海南市小野田の南付近です。中流域のちょうど真ん中くらいです。

写真18・19は海南市小野田の西側付近です。川幅も広がってきました。

写真18



写真19



写真20



写真21



写真22



写真20は海南市且来(あっそ)の阪和高速道路と交差するところより東側付近です。このあたりで大きく蛇行してからはほぼ西に向かって進みます。

写真21の家並みのところで横切っているのが阪和高速道路です。

写真22は且来(あっそ)の県道の橋から西側を見たところです。

写真23



写真24



写真25



写真23は海南市岡田付近です。この西側で和歌山市に入ります。

写真24はJR紀勢本線の鉄橋です。ここから西側が本校浜宮小学校の校区になります。

写真25は南側の大山の裾を流れているところです。

写真26



写真27



写真28



写真26は羽鳥橋西側から西を見たところです。右側の建物が浜宮小学校です。

写真27で見える橋が羽鳥橋です。



写真28は浜宮小学校の南側で亀の川が最後にカーブするところてです。ここで曲がった後は直線的に和歌浦湾まで進みます。亀の川は江戸時代までは現在の紀三井寺川に流れていたようですが、氾濫が多いため現在の流路に付け替えられたとのこと

写真29



写真30



写真31



写真29は亀の川の河口です。この橋の道路を南に走るとマリーナシティーがあります。

写真30は河口から北側をみたところてです。ここは和歌川の河口でもあります。古代は紀ノ川がここを河口にしていたそうです。左側は万葉で歌われた片男波です。

写真31は河口から西をみたところてです。片男波の向こうは雑賀崎です。海は和歌浦湾です。

写真32は河口から南を見たところてです。海南市大崎(旧下津町)の岬が見えています。

写真32

